

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年 7月24日

<b>施設名</b>	土佐西南大規模公園(中村地区)	<b>所管課室</b>	土木部公園下水道課
------------	-----------------	-------------	-----------

## 1 施設の概要

<b>指定管理者名</b>	財団法人 四万十市公園管理公社	<b>指定期間</b>	平成18年4月1日 ~ 平成21年3月31日
<b>施設所在地</b>	高知県四万十市下田他		
<b>事業内容</b>	1. 施設の運営に関する業務 (1) 施設等の利用に関する業務 (2) 施設等の利用料金の徴収 2. 施設等の維持管理に関する業務 (1) 施設等保守管理業務 (2) 清掃業務 (3) 植栽管理業務 (4) 運動施設管理業務 (5) 警備業務 3. 公園全般に係るその他の業務 (1) 公園の利用案内 (2) 利用促進のための企画等の実施 (3) 周辺市町村・団体等との協力、連携 (4) 県民やボランティア等との協働事業の推進 (5) 公園に関する情報の提供 (6) 公園に関する要望及び苦情の処理 (7) 緊急対応体制の確立 4. 物品の管理		
<b>施設内容</b>	面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 【公園全体】 面積:115.9ha (うち管理区域 33.9ha) 【オートキャンプ場】 約300人収容 テントサイト47区画(1回4,000円)、テングローサイト12区画(1回4,500円)、キャンピ サイト15区画 (1回10,000円)、総合管理棟1棟、多目的棟1棟、炊飯棟3棟、バーベキューサイト1棟 【遊戯施設】 展望広場、わんぱく広場、サンサンパークエリア、てづくり・いななかエリア 【運動施設】 ソフトボール場1面、テニスコート2面 【シャワー施設】 管理棟・サニタリー棟:男女各3室 (1回200円) 洗濯機(1回300円)、乾燥機(1回200円) 双海駐車場・平野駐車場:共同4室 開園時間:オートキャンプ場(15:00~翌日13:00,10:00~16:00) 多目的棟・付属設備(8:30~17:00) 休園日:無休		
<b>職員体制</b>	事務局長及び次長の他、総務係5名(非常勤職員4名、常勤臨時事務職員1名)と業務係3名(常勤臨時職員)で対応している。		

## 2 収支の状況

単位:円

		18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	11,012,000	8,421,000
	使用料・手数料	30,025,800	31,745,000
	その他	1,538,131	4,988,000
	収入計 (a)	42,575,931	45,154,000
支出	事業費	0	0
	管理運営費	17,758,762	21,333,000
	人件費	23,503,898	23,821,000
	その他	0	0
	支出計 (b)	41,262,660	45,154,000

### 3 利用状況

	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(目標)
年間利用者数(単位:人)	17,555	14,919	16,500
利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 宿泊者にチェックイン時にアンケート用紙を配布し、チェックアウト時に回収。 (H18年度 回答数160) 利用回数 1回(80%) 2回(5%) 3回以上(15%) 知る手段 新聞・雑誌(47%) インターネット(28%) その他(24%) 施設の印象 ・施設・設備 良い(84%) 普通(14%) 悪い(1%) ・職員対応 大変良い(15件) 良い(59件) 親切(23件) その他 清掃等に関すること……早急に対応 施設・設備……県と協議		

### 4 平成18年度業務評価

項 目	状 況 説 明
適正な管理運営の確保	概ね事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていた。遊具の保守管理においては、日常点検を毎月行い、点検技術向上のために遊具点検講習会に職員を派遣する等安全の確保に努めている。 地元の四万十市観光協会と連携して、イベントに関わることで、公園施設への集客や広報活動を行うとともに、ボランティアの協力により清掃活動に結びつける努力をしている。 地域住民参加のイベントを実施し、キャンプ利用者と地元住民のふれあいの場を提供している。また、地元婦人会に清掃業務の一部を委託したり、幡多農業高校の生徒と除草活動を実施し、地域との協働を図っている。
利用者サービスの維持向上	施設の予約受付状況をホームページで公開し、利用者に情報提供を行うとともに、大阪で開催されたアウトドアフェスティバルに参加して、最新のキャンプ用品等をリサーチするなどして、利用者の満足度の向上に努めている。 多目的棟を宿泊施設に用途変更し、団体客の誘致や繁忙期の満室状態の緩和を図っている。
利用実績	利用者数及び利用件数とも昨年度を下回っており、閑散期の利用者の増加が今後の課題と思われる。
収支の状況	当初の予算執行計画より支出金額が下回り、自主事業の収入減があるも収支はプラスとなっている。
総合評価	協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されるとともに、利用促進のためのサービス向上にも取り組んでおり、適正な管理運営がされたと認められる。 特に利用者とのコミュニケーションを図り、サービス向上に取り組む等の努力がみられる。今後は施設の特性を生かして、利用率の向上に取り組む必要があると思われる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの